

### 企画概要

本学学生に「自分の大学をもっと知ってもらいたい」「愛校心を持って巣立ってほしい」と思い、この企画を考案しました。京都産業大学に関する検定集を作り、在學生に検定を通してもっと大学のことを知ってもらおうというものです。テキストの中身はゼミ生が学生視点で調査・取材し、検定対象者は本学在學生とし、目標を 800 人としました。

### 結果報告

夏休みから作成してきた検定集が予定より一ヶ月半ほど遅れ 12 月に完成しました。その直後より昼休み、放課後を利用して、三叉路を中心に在學生に京産検定の PR とともに配布しました。12 月 16 日（木）、17 日（金）の昼休みと放課後にはミニイベント：ミニ検定の受験（89 名参加）とテキストの配布を行った。本来、11 月 30 日（火）に実施予定であった京産検定は、冬季休暇を挟んだ、1 月 13 日（木）に 516、517 教室にて行いました。問題は検定集を基にゼミ生が作成し、当日参加も可能にし、個人戦と団体戦の 2 つのカテゴリーに分けて検定を行いました。結果として、当日は欠席者もあったが 159 名の参加があり、ゼミ生一同大変満足した結果でした。その後、ゼミ生で採点を行い、1 月 21 日（金）の昼休みに 5 号館 1 階で表彰式を行いました。個人戦は成績優秀者 15 名に賞状と図書カードの贈呈し、団体戦は成績優秀上位 3 グループに賞状と副賞を贈呈しました。1 名満点を取った方がいて、表彰時は歓声や拍手などで大変盛り上がりました。目標の 800 名には到底及ばない数字でしたが、数字以上に満足感、達成感があり、ゼミ生全員が団結して取り組みました。

### 感想・まとめ

採択を受け、この結果報告書を提出し終わるまでの期間、この企画に携わり、結果以上の大きなものを手に入れたような気がします。これまで経験しなかった壁に何度もぶち当たり、本当に実現することが出来るのか？と不安になったことが何度もありました。その中で共に同じ方向を向いて頑張った仲間には本当に助けられました。衝突したこともありますが、それは今思うと互いの「この企画を良いものにしたい」という強い想いの表れだったように思います。この企画の目標であった「愛校心を高める」という意味でも、京都産業大学の歴史等を調べ、理解していくにつれ、私たち自身がますます京都産業大学を好きになり、以前よりももっと京都産業大学を誇りに思えるようになりました。日常の大学生活の中で大学のことについて、ここまで深く追求出来る機会はなかなかないので、貴重な経験をさせていただいたと思います。企画を進行していく中で、もちろん課題点や反省点は多々ありました。これを次の機会に活かしていきたいと思ひますし、これを機にまた一段と成長したいと思ひます。企画実現のために協力して下さった皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。